

お客様本位の業務運営に関する取組状況

しんきん証券株式会社

しんきん証券では、信金中央金庫グループ「お客様本位の業務運営に関する取組方針」に基づき、「お客様本位の業務運営に関するアクションプラン」を策定し、お客様本位の業務運営に向けた取組みを推進しております。

2021年度におきましては、次の取組みを実施しました。

(前文)

アクションプラン	取組状況
<p>しんきん証券株式会社（以下「しんきん証券」と略称します。）は、信金中央金庫グループの「お客様本位の業務運営に関する取組方針」にもとづき、アクションプランを策定し、お客様本位の取組みを実践します。</p> <p>しんきん証券は、アクションプランの取組状況を定期的に確認・公表し、必要に応じて見直します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> お客様本位の業務運営が企業文化として定着するよう、アクションプランの見直しを行いました。

1. お客様の最善の利益の追求

アクションプラン	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> しんきん証券は、お客様本位の業務運営が企業文化として定着するよう、先用後利（先にお客様の用に立って、後から利益はついてくる）の精神に基づき、お客様の喜びをわれわれの喜びとして捉え、お客様の最善の利益の追求を目指します。 しんきん証券は、お客様のニーズや財務状況にあった商品やサービスを提供するため、研修等の充実を図ることにより、高度な専門知識を有するプロフェッショナルな人材を育成します。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナの影響により営業活動が大きく制限される中、電話やメール、Web会議等の非対面ツールを活用し、お客様に販売した商品の時価や格付等の変動に際し、日常的なフォローアップに努めております。 お客様の最善の利益の追求のため、月次の業務運営委員会（注）において業務運営状況を評価するとともに、よりお客様のニーズに合った提供商品の選定を行っております。 職員育成のため、eラーニングや外部研修を受講しやすい環境を整備しました。 <p><small>（注）当社の業務運営に関する基本的事項、証券営業・商品開発等に関する事項を審議する機関</small></p>

2. 利益相反の適切な管理

アクションプラン	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> しんきん証券は、お客様の利益が不当に害されることのないよう、取引の種類等に基づき利益相反のおそれのある取引の厳格な管理を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 利益相反管理方針にもとづき利益相反の適切な管理を行うとともに、役職員向けコンプライアンス研修（7月および1月に実施）において、利益相反管理に関する研修を実施しております。

3. 手数料等の明確化

アクションプラン	取組状況
<ul style="list-style-type: none"> しんきん証券は、投資信託商品にかかる手数料その他の費用について、その詳細を分かりやすく丁寧な形で情報提供を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 2021年度に設定した投資信託も含め、当社が販売する投資信託にかかる手数料その他の費用について、運用会社と連携して商品概要説明書等に分かりやすく明記しております。 同種の商品との比較等により、手数料水準が適正であることを確認するとともに、手数料水準の見直し等について、随時、検討しております。

4. 重要な情報の分かりやすい提供

アクションプラン	取組状況
<p>・しんきん証券は、商品・サービスの販売・推奨等にかかる重要な情報（リスク・リターン、取引条件など）について、同種の商品内容と比較することが容易な資料を用いるなど、その詳細を分かりやすく丁寧な形で情報提供を行います。</p> <p>(注1) しんきん証券は、信用金庫をはじめとする特定投資家や、事業法人・地方公共団体・組合・財団等の一般投資家をお客様とするホールセール専門証券会社であり、個人のお客様への販売は一切行っておりません。 また、複雑な仕組債や投資信託の販売を適格機関投資家のお客様に限定する等、お客様の属性やリスク許容度に配慮した販売を行っております。</p> <p>(注2) しんきん証券では、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等を行っておりません。(投資信託のように複数のアセットを組み合わせた商品を除く)</p>	<p>・お客様の投資判断に役立つ情報を提供するため、WebセミナーやWeb会議、債券発行体のIRを実施するなど、タイムリーな情報を提供できるように努めております。</p> <p>・投資信託の販売説明では、商品説明資料（シンキングペーパー）に基づきメリット・デメリットを詳しく説明しています。</p> <p>(注) しんきん証券で取り扱う投資信託は適格機関投資家限定の私募投信であり、その性質に配慮し、リスク・リターン等の共通KPIは公表しておりません。</p>

5. お客様に最適な商品・サービスの提供

アクションプラン	取組状況
<p>・しんきん証券は、信金中央金庫グループ内外の投資運用会社から適切に商品を選定し、お客様が投資目的やリスク許容度に応じた金融商品を選択できるよう、商品ラインナップの充実を図ります。</p> <p>(注1) しんきん証券は、信用金庫をはじめとする特定投資家や、事業法人・地方公共団体・組合・財団等の一般投資家をお客様とするホールセール専門証券会社であり、個人のお客様への販売は一切行っておりません。 また、複雑な仕組債や投資信託の販売を適格機関投資家のお客様に限定する等、お客様の属性やリスク許容度に配慮した販売を行っております。</p> <p>(注2) しんきん証券では、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等を行っておりません。(投資信託のように複数のアセットを組み合わせた商品を除く)</p>	<p>・日次・月次ベースでお客様に提供しているマーケットレポートについて、外部調査機関との提携によって情報内容の充実を図るとともに、よりバランスのとれた質の高い情報を提供しております。</p> <p>・お客様に最適な商品・サービスを提供するため、毎月実施しているプロダクト審査会（注）において、提供している商品の価格・売上の動向やフォロー状況、今後の商品提案計画等の精査を実施しています。</p> <p>・投資信託のラインナップ状況は、国内リート、先進国の国債、公共債のほか、顧客ニーズに基づき、米国債ファンド（為替ヘッジなし）や分散投資型の単位型投資信託および追加型パッシブ投資信託などを設定しております。また、更なる選択肢の拡充のため、12月より新たにETF（上場投信）の取扱いを開始しております。</p> <p>・分散投資を行うお客様の選択肢を拡げるべく、リスク・リターン、リスクウェイト、ドローダウン等のお客様のニーズをベースにオーダーメイドでマルチアセット型の商品を開発しています。</p> <p>(注) 投資信託、仕組債等の商品に係る業務運営に関する事項やその評価、ならびに新たな商品の計画および販売・提供に関する事項を審議する機関（前述「業務運営委員会」の下部会議）</p>

6. お客様本位の業務運営を徹底するための枠組みの整備

アクションプラン	取組状況
<p>・しんきん証券は、お客様本位の営業活動を評価するための営業評価体系を整備します。</p> <p>・しんきん証券は、社内研修を通じ、お客様の最善の利益を追求する考えを徹底します。</p>	<p>・新型コロナの影響により営業活動が大きく制限される中、お客様との接点を増やすべく、「既存販売商品へのフォローアップ」、「CS向上への取組み」および「依頼事項への対応姿勢」を評価する体制を整備しました。</p> <p>・役職員向けコンプライアンス研修（7月および1月に実施）において、フィデューシャリー・デューティーについての研修を実施しております。</p>